

東京民医連

東日本大震災 ニュース

2011年3月29日

No.37

発行：東京民医連事務局

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：sien@tokyominiren.gr.jp

山本 英司医師(中野共立病院)、 『自分にしかできない医療を』!

岩手県宮古市田老字荒谷出身で中野共立病院副院長・山本英司医師が、地元の避難所で応援診療し、初期医療に貢献した。田老地区は東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた。「地元を知る自分でなければできない医療がある」といい、被災者の病や心の疲れと向き合う。

山本医師は震災が発生した11日、テレビで被害の大きさを知り、その日の夜に車で自宅を出た。高速道は規制され、27時間かけて盛岡に到着。14日朝、やっとたどり着いた。身内の安否確認がなかなかできない状況が続いたが、支援を願い出て、田老診療所長の黒田仁医師らと協力して避難所での診察を行った。

(3月28日『岩手日報 被災地ニュース』より。写真は宮古市田老・グリーンピア三陸みやこでの山本医師)。



現地支援レポート (病体生理研究所)



仙台市内東の若林区近くは、津波の爪跡が広がっています。海からかなり距離がありますが、木がなぎ倒され田んぼが泥と瓦礫で埋まっています。塩竈港に寄り



ましたが、建物は特に1階がメチャメチャで、壊れた車がゴロゴロし

ており、この世のものとは思われませんでした。信号機は停電で消えています。ガソリンスタンドはどこも長蛇の列です。車が壊されたためか自転車の人が多いです。

松島海岸診療所では、水に浸かったテレビ、棚、椅子などが外に出されており、1階は段ボールが敷かれ、まだ片づけている最中でしたが、診療は開始していました。あたりは泥と汐の臭いがしています。毛布、水、ホカロンなどの物資はとてよこばれました。診療地域の東松山の被害が特に酷かったとのことで、行ってみましたが、通行禁止でした。

『東日本大震災義援金の税法上の取り扱い』について

この間、東日本大震災義援金の法人税法上の取り扱いについて、顧問公認会計士および協働公認会計士共同事務所に問い合わせが寄せられています。このたび協働公認会計士共同事務所の見解がまとめられ全日本民医連経営部より送られてきました。添付いたしますので、ご確認ください。